

いっぱん質問

行政の考えを問う



田中 義幸 議員

交通網の整備が過疎化を防ぐ……………9P

新井 高雄 議員

市は「いこいの家」存続の請願採択を
尊重せよ…………… 9P

新井 高雄 議員



問 市は「いこいの家」存続の
請願採択を尊重せよ

答 重く受け止めるが、今後、
総合的に判断する

質 3月議会冒頭、議
会は山田いこいの家・
白雲荘の存続に関する
市民からの請願を、採
択・議決した。
行政は、議会が採択
した重みを尊重し、今
後いこいの家を残す作
業にあたらなくてはな
らないと考えるがどう
か。
赤間市長 今後、個々
の施設の課題や問題点、
財源などを総合的に判
断し最終な意思決定を
行う。

意見 全体の問題の中
でいこいの家を考えて
いくと言うが、それは
議会に対して全く誠意
がないことだ。議会が
市民の代表として採択
した存続の結論に従っ
て執行するのが行政の
あるべき姿である。
市長の答弁の言いよ
うは、市政運営が行政
に一任されてしまい、
行政がひとりで先行し
てしまうことになりか
ねないものだ。
子どもに係る国民健康

質 保険税の軽減を求める
国民健康保険税は、
協会健保や組合健保と
違って、収入のない子
どもにまでも人頭税の
性格をもつ均等割に
よって課税し、子育て
世代の親が支払う仕組
みになっている。
抜本的改善のため、
全国知事会が国からの
補助金1兆円を要求し
ているが、すぐに実現
できる見通しはない。
実現するまでの間、
市独自に財政支援し、

均等割を軽減して子育
て世代を応援すべきだ。
すでに実施している
全国の市町村に見習っ
て、本市でも取組むこ
とを求める。
赤間市長 子どものい

る家庭が全部、国民健
康保険であればそれも
考えられるが、協会健
保の子どももいるので
公平性が保たれるのか
十分議論したい。

子どもの均等割減免の自治体（来年度実施予定含む）

- 北海道旭川市★
- 岩手県宮古市★◎
- 宮城県仙台市★
- 福島県南相馬市★◎
- 白河市★◎
- 新潟県佐渡市
- 東京都昭島市
- 東大和市
- 清瀬市
- 武蔵村山市
- 他15市町

★印は高校生世代まで所得
制限なしで第1子から減免
している自治体
◎印は全額免除

田中 義幸 議員



問 交通網の整備が過疎化を
防ぐ

赤間市長 その通りだ

質 交通網の整備が過
疎化を止める重要な政
策だ。
赤間市長 人口減少に
ついてはその通りだ。
質 福祉バスの路線と
ダイヤはどうする。
小林地域活性推進課長
基本的に見直す。
質 大幅減便となった
碓井・大分抗線につい
て、現在の山田から桂
川駅に行っている市バ
ス路線を、牛隈から碓
井庁舎前を経由して、
福岡県信用組合前を右

折、そして第二保育所
前に出るようする案と、
現在の路線上庁舎前の
コンビニ周辺と、農協
前信号に停留所を作れ
ば住民の利便性に叶う
のではないか。
地域活性推進課長 良
い案だ。西鉄と協議す
る。
セ Toback 政策
質 セ Toback 政策すべ
き市道は、県と情報共
有ができていないか。
廣瀬土木課長 できて
ない。

質 ある市道は、セッ
トバックしたが、8年
間放置されたままで住
人が管理している。先
日の鴨生地区の例も25
年間放置されていた。
正直者が馬鹿を見る。
一部しかセ Toback
していない道路の管理
はどうなる。
土木課長 全て終わっ
てから維持管理する。
意見 終わるまで20年、
30年かかるかも知れな
い。その間放置するこ
とになる。部分的でも

セ Toback された道
路は管理すべきだ。
行政区交付金問題
質 A・B行政区の交付
金について、昨年9月
に401万9634円
の差額は事実と異
なっていたことを示し
た。世帯数登録の件も
行政が容認していた。
その後どうなったか。
安陪総務課長 電話で
双方に話をしたが、進
展がない。
意見 同じ嘉麻市の行
政区同士がいがみ合う

のは、非常に良くない。
早急に解決すべきだ。
他に公共施設の統廃
合、防災行政無線につ
いて質問。



委員会の動き

民生文教委員会

1月4日
請願審査
(付託案件)

議会運営委員会

2月13日
3月定例会の日程
など
3月12日
定例会最終日の日程
など

産業建設委員会

1月6日
請願審査
(付託案件)

広報編集特別委員

12月18日
議会広報編集
1月15日
議会広報編集
1月21日
議会広報編集
1月24日
議会広報編集

3月補正予算 (平成30年度分)

一般会計	4億9,981万円減
総額	296億3,671万円
国民健康保険特別会計	108万円減
総額	55億2,662万円
後期高齢者医療特別会計	7,132万円減
総額	6億1,627万円
介護保険特別会計	5,181万円減
総額	55億2,960万円
住宅新築資金特別会計	519万円減
総額	4,489万円
水道事業会計	1,650万円減
収益的支出	6億9,906万円
資本的支出	17億4,594万円
6会計総額	437億9,912万円

※千円以下を切り捨てています。

一般会計補正の主なもの

(歳入)

ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金	6,290万円
農林水産業施設災害復旧費補助金	3,520万円
林道災害復旧費補助金	3,743万円

(歳出)

小学校空調設備設置工事	1億3,167万円
中学校空調設備設置工事	1億4,082万円



エアコン設置イメージ